

研修目標

1 在宅・施設・病院での事例を通して、利用者（患者）の思いやACPの必要性を知る事ができる

（意見）

- ・介護に関しては施設に薬を届けるくらいでACPという言葉は初めて聞くくらいの勉強不足でした。
- ・ACPに関しまして言葉で聞いた事はあっても実際の例がなかなか思いつかなかったので、この研修会によって知識を深められる機会を提供して頂きありがとうございます。
- ・ACPについてきちんと勉強したことがありませんでしたが、具体的なケースを紹介いただき分かりやすく学ぶ事ができました。職場内で感想を共有し、参加できなかった職員にも自分の仕事の意義や何をを目指すのか等考えるきっかけ作りにします。
- ・今迄知らなかった事が多くありました。こういう機会がなければ判断に迷う事もあると思います。
- ・なかなか口にするのは難しい問題ですが、人生の締めくくりをどうしたいか家族に伝えたいと思いました。
- ・意思が変わったり、迷ったりすることは、自然な事だと思いました。そして、スキのように迷っている人に寄り添って一緒に考えることは患者さんにとって大変心強いことなのではないかと思いました。

2 研修にて、自職種を振り返り多職種と情報共有する事ができる

3 利用者（患者）の意思決定を支援するチームの一員として、明日からの働きを具体化できる

（意見）

- ・在宅介護の場面で利用者に対して、ACPを気軽に話し合えるようにしていきたいと考えています。
- ・医療者の立場から患者様に対応する限界とふみこんではいけない。寄り添う大切さとむずかしさをとても感じました
- ・病院の中でも、「受け入れが悪い患者」、「また方針が変わったの?」「在宅に帰ったのにまた戻ってきたの?」という発言はよくききます。「揺らぎを保障する」という概念はまだ浸透していないと実感しています。仲間を増やすこと、代弁できることを繰り返ししていきたいです。
- ・状況に変化が生じた際等、どう過ごしたいかなど思いは考えますが、現実的に現状を受け止めることができない場合など、色々な問題が生じ寄り添う事一緒に悩む事が重要と考えました。
- ・実際自分がこのようなケースに関わる事になった時には、できることは限られると

思うが、ご本人ご家族がしっかり決断できるように支援していきたいと感じた。

【今後も研修をする意義について】

（意見）

- 研修会の内容が社会に広く浸透される様、繰り返していくことが必要ではないかと感じた。
- 患者さん、自分や家族であった時の事を改めて考えました。
- 多職種の現場での実際を知ることができたので、非常に有意義な時間となりました。
- 訪問看護でのAYA世代の事例が拝聴していて状況がリアルに伝わってきて胸をうたれました。
- 少し前に4分割の話し合いに担当ケアマネジャーとして参加させてもらい、多職種の連携ということを初めて実感できました。「連携、連携」ということが何度も耳にしますが、介護の方には医療系の話は難しい事も多く、退院カンファレンスも家族が蚊帳の外という印象がありました。この研修会では先生たちの葛藤も見えより連携を深める重要性を感じました。
- 医師、看護師のお話を直接聞ける機会は貴重です。これからも、続けていただきたいです。

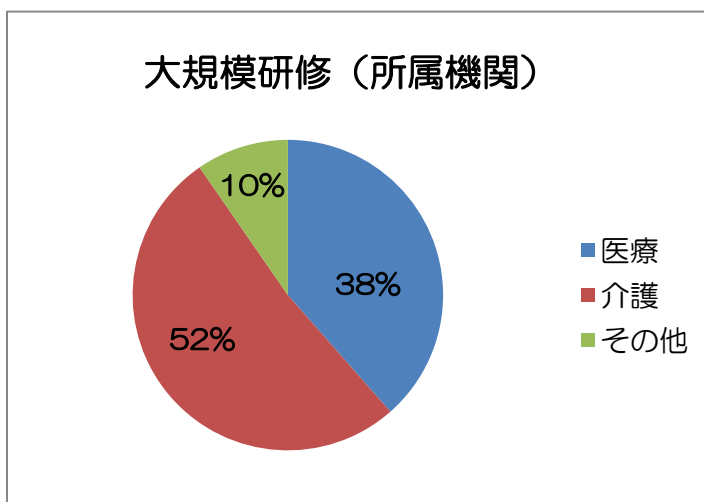
【アンケート分析・考察】

今年度の研修は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みウェブでの開催となった。当初、介護事業所の参加が少ないのではと懸念していたが、参加状況を見ると医療関係者38%、介護関係者52%(図1)であった。内訳として、包括15%、居宅28%、訪問系30%、施設系27%(図2・3・4)であった。学校の教員や学生の参加もあり、ウェブでの開催は多職種がまんべんなく参加して頂く為の方法としては有効と考える。しかし、参加申し込み200名の募集を行い、参加人数145名(当日不参加44名)であり、会場で申し込みの集まり方に比べると申し込み者数は少ない状況だった。当日参加していない方の中には、入室できなくて参加を断念した方(研修前のテスト日はやらなかったとの事)や入室したがネットワーク環境の為か強制退室に何度かなった方がいる等があった。今後ウェブでの研修を開催するにあたり、事前の使い方の説明を強化するなど、参加してもらえる工夫をしていく必要があると考える。

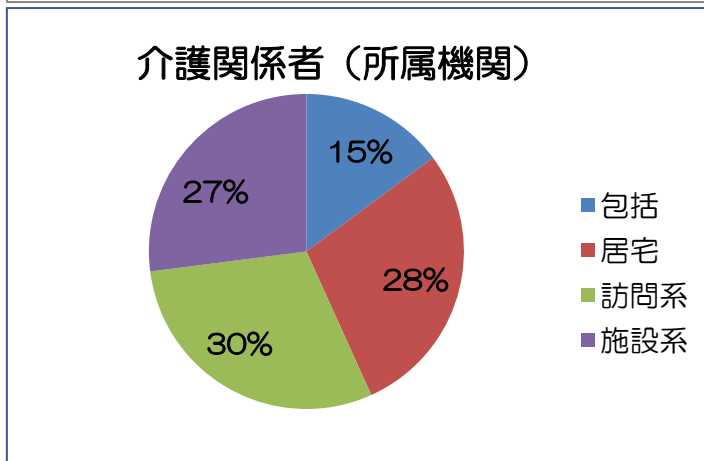
目標である「ACPを知ってもらおう」に関して、初めて聞いた言葉だったにも関わらず参加してくれた方や、事例を通して実感として理解できたという意見があり、目標に達する事ができたと考える。また、「明日からの働きを具体化できる」に関して、「ACPを気軽に話合えるようにしたい」、「仲間を増やすこと、代弁できることを繰り返していきたい」などの意見があり、具体化する事の目標に達する事ができたと考える。講師の方々には事例を用いて、より具体的に講演をして頂き、それをふまえ

でのディスカッションを行った。特に先生からの事例で葛藤している事の話について、介護関係者から「介護の方には医療系の話は難しい事も多く、退院カンファレンスも家族が蚊帳の外という印象がありました。この研修会では先生たちの葛藤も見え、より連携を深める重要性を感じました。」などの意見があり、相互理解する事で連携を深める事ができる事を感じた。希望する研修について、事例検討をしたいとの意見が多かった。多職種での研修として、より具体的に考える事ができるよう事例を用い、相互理解を深めるためのディスカッションもしくはグループワークが必要と考えた。

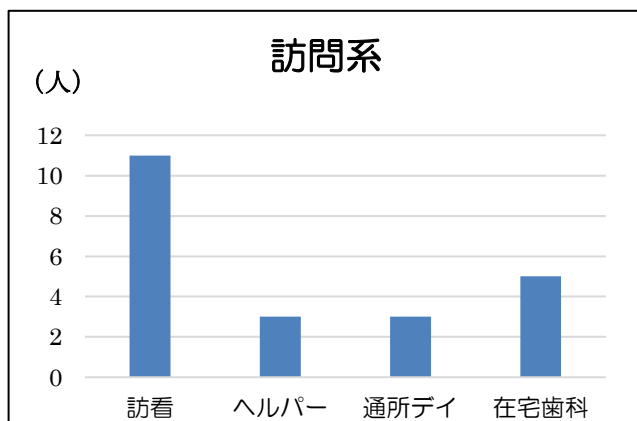
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

